

岐阜県立岐阜高等学校 校歌

作詞 松平 静
作曲 伊藤栄治

せん じんのたけ きん か ざん ひゃく りのみず な が ら がわ
(が) か いの なみ あ ら く とも き ぼ うの きし と お く とも

か ようの けんじ こ こに うま れて こ っか のた めに あ けくれま なぶが
か ようの けんじ こ ころ おお し く ひゃくせ つふ とう

2.
つ とめてやま ずふ る へ ふ る へ ほ こるさいこの

れ きしある わ がこ うこ うの ほ まれをば あ げ よ も

ろ びと も ろ と も ー に

千仞の嶽	金華山	学海の波	荒くとも	国家の為に	明け暮れ学ぶ	華陽の健児	ここに生まれて	百里の水	長良川	希望の岸	遠くとも	華陽の健児	心雄々しく	百折不撓	つとめてやまず	奮へ 奮へ	誇る最古の	歴史ある	我が高校の	譽れをば	挙げよ諸人	諸共に
------	-----	------	------	-------	--------	-------	---------	------	-----	------	------	-------	-------	------	---------	-------	-------	------	-------	------	-------	-----

岐高女校歌

一 ああすめらみ國榮ゆみ代に
われら処女生れあひたる幸
胸の鏡と日々にあふく
教への道の勅語

二 見よ稲葉山の姿は高し
われら処女高く心を保たむ
國の御為に人の為に
力のかさりつくさばや

三 きけ長良川の瀬の音は清し
われら処女清く心もみかむ
はけみいそしみ探かたく
明るき微笑うつくしく

姫小松

一 学びの庭の 姫小松
千代の操に たく（つ）
植ゑしその日のめぐりきぬ
いや祝わん 諸共に

二 恵みのつゆに うろおいし
みとりゆかしき 姫小松
いよよますすきしげうし
千代に八千代にせかえなん

藍水くらぶ

高木 あい筆

姫小松(創立記念日の歌)

岐高女 校歌

まなびの に わの ひめこまつ ちよのみ さをに
めぐみの つ ゆに うるほひ て みどりゆ かしき

たぐへつつ うーあし そのひの めぐりーきぬ
ひめこまつ いーよよ ますます しげるーべし

いさやーい わはん もろとも に
ちよにーや ちよに さかえなん

あ あ す めらみく に さ か ゆ るみよ に わ
み よ い なばやま の す が たはたか し わ
き け な がらがわ の せ の と はきよ し わ

れ らを と めう まれあひ た るさ いはーい む ねの
れ らを と めた かくここ ろを た もたーむ く にの
れ らを と めき よくここ ろを み がかーむ は げみ

か がみと ひびに あふーぐおし え のみ ち のみ ことの り
み ために ひどの たーめーにちから のか ざりつ くさば や
い そしみ みさお かーたーくあか る きえ まひう つくしく

もくじ

挨拶・祝辞

- 1 岐阜県立岐阜高等学校 校歌
- 2 岐高女校歌 姫小松(創立記念日の歌)
- 4 令和七年度の通常総会開催にあたり
同窓会会長 村瀬幸雄
- 5 「同窓会総会」をお祝いして
岐阜県立岐阜高等学校長 小野 悟
- 6 懐かしい旧友との楽しいひと時を
運営委員会委員長 山田秀夫

総会資料

- 7 総会 式次第
- 議 事

- 8 ● 第一号議案 令和六年度事業報告
- 第二号議案 令和七年度事業計画(案)
- 9 ● 第二号議案 令和六年度決算報告ならびに監査報告
- 10 ● 第四号議案 令和七年度予算(案)
- 11 同窓会役員
- 12 令和六年度決算書(案)
- 13 令和七年度予算書
- 14 同窓会規約

- 15 特集1 プロフェSSIONナルからのメッセージ
- 16 ・私の原点 中外製薬株式会社
代表取締役社長CEO 奥田 修
- 18 ・脳卒中をやっつけろ！
兵庫医科大学脳神経外科 主任教授 吉村紳一
- 20 ・がん克服のために ～岐阜県に最新医療技術を～
岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科教授 二村 学
- 24 ・新しいお札の話
元国立印刷局研究所 上席研究員 武藤直一
- 27 特集2 校史への招待
- 28 ・校旗の色をたずねて
- 32 ・校史資料室の紹介
- 34 卒業アルバムより
- 40 恩師からの便り
- 46 同窓生の寄稿
- 54 岐高だより
- 62 令和七年度入試 大学合格者数
- 63 同窓会総会運営委員会名簿
- 64 応援団歌 凱旋歌
- 65 会報協賛広告
- 166 令和七年度 同窓会総会出席者名簿
- 169 広告ご協賛の御礼 編集後記

令和7年度の通常総会開催にあたり

岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 村瀬 幸雄



令和七年度の同窓会総会にあたり、ご挨拶申し上げます。

本年度も多くの同窓生の皆様にご出席をいただき、盛大に開催できますことを感謝申し上げます。また、平素より、同窓会運営につきまして、多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

会長として、この一年間、在京(首都圏)岐阜高校同窓会をはじめ、卒業証書授与式・同窓会入会式等の行事へ参加致しました。また、岐阜高と青山学院高両校野球部の親善試合、岐阜県で開催された全国高等学校総合文化祭を通して、同窓生のみならず在校生の皆さんが躍動する姿を目

の当たりにし、大変嬉しく思いました。

本会は世代を超えて多方面でご活躍される皆様が一堂に会する貴重な機会であり、旧交を温め昔を懐かしむだけではなく、新たな交流や発見、感動の場になればと存じます。

同窓会では、創立一五〇周年を機に設立されたグローバルリーダー養成事業として、在校生の海外留学や研修の支援を実施しております。また、国内外の様々な分野で活躍しておられる同窓生を講師としてお迎えし、在校生向けセミナーも開催してまいります。引き続き、本日も集まりの皆様と一緒に、母校への恩返しを継続して

いくことが、岐阜高校の歴史と伝統を繋いでいくことになると思います。

今年度の同窓会の総会運営を担当していただき、ありがとうございました。昭和五七年、平成四年、平成一四年の卒業の皆様におかれましては、本会の開催に向け、総会から懇親会、会報の企画から運営まで多方面に亘り、ご尽力いただきありがとうございます。

本日お集まりの皆様方のご健康とご多幸と、岐阜高校のますますの発展を祈念し、開催にあたっての言葉とさせていただきます。

「同窓会総会」をお祝いして

岐阜県立岐阜高等学校長 小野 悟



令和七年度の岐阜高校同窓会総会が、村瀬幸雄会長様をはじめ役員・運営委員の皆様方のご尽力により開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと、この四月の人事異動で岐阜高校にお世話になることになりました。本校には平成二五年度に一年間、教頭として勤めておりましたので、一年ぶりの勤務になります。大変微力ではありますが、岐阜高校の益々の充実発展のために精一杯努めさせていただきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願います。

さて、ご存知のように、本校の生徒は「百折不撓・自彊不息」の校訓のもと、輝かしい歴史伝統を受け継ぎながら、文武両道をモットーに日々学習や部活動にと励んでおります。文の象徴である今春の進路結果は別頁にてお知らせさせていただいているとおりですが、武の象徴である部活動においても限られた時

間を有効活用して県内外で活躍しました。

その一端を御紹介させていただきますと、まず、昨年度、わが県で開催された清流の国ぎふ総文二〇二四（全国高等学校総合文化祭）に、美術部、書道部、演劇部、音楽部、文芸部、自然科学部、写真部、囲碁・将棋部、吹奏楽部、応援団が出場し、写真部が優秀賞を受賞したほか、これらの部以外でも、多くの生徒が企画・運営等に携わり、大会の成功に尽力しました。加えて、書道部が、全日本高等学校書道コンクールで準大賞を、自然科学部が日本学生科学賞で入選を、また、吹奏楽部が中部日本個人・重奏コンテスト本大会において重奏の部金賞をそれぞれ受賞したほか、書道部、音楽部、囲碁・将棋部、クイズ研究部が全国大会に出場しました。運動部においても、陸上競技部、水泳部、バドミントン部、テニス部が東海大会に出場しました。これまで東海大会以上の活躍の様子を紹介させていただきましたが、紹介させていただきます

いた部以外においても、各部がそれぞれの目標に向かって、日々、活発に活動しています。

さらに、部活動以外においても、ロールス・ロイス&BAE システムズサイエンキャンパ二〇二四決勝大会において最優秀賞を受賞、政策提案型パブリック・ディベート全国大会において優勝（二年連続）するなど、大きな成果を挙げています。

このように、岐高生は皆様の期待に応えるべく様々な分野で大活躍をしています。今後とも、本校の教育活動に絶大なるご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の総会を運営されます山田秀夫運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和五七年、平成四年、一四年卒業の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

懐かしい旧友との楽しいひと時を

令和七年度同窓会総会運営委員会 委員長 山田 秀夫



本日は、ご来賓、恩師の皆様をはじめ大勢の同窓生のご参加を賜り誠にありがとうございます。今年の同窓会幹事年の昭和五十七年、平成四年、平成一四年の卒業生を代表して心より御礼申し上げます。また、同窓会報への広告協賛を頂きました関係各位並びに協賛金をお送り頂きました皆様にも深く感謝申し上げます。

さて、本年度の同窓会懇親会に向けて、幹事三学年が協働して学校にもご協力頂き新しくなった岐阜高校のご紹介ビデオを作成致しました。私自身、幹事として岐阜高校の校舎内へ入る機会を頂き独創的且つ機能的な校舎には目を見張るものがありました。その新しい校舎の様子をご覧いただくと共に、現役の岐阜高校生にご登場頂き今の学校生

活の様子も含めた現在の岐阜高校を紹介させて頂きます。

岐阜高校の同窓会の運営幹事は一〇年毎の世代の異なる三学年が当番学年という立場で準備、運営に関わる仕組みとなっております。昭和五十七年卒が一〇年前、二〇年前の幹事経験を活かし全体を統括並びに運営し、平成四年卒は現役世代のバイタリティーそのままに強力な推進力となり、平成一四年卒は新しい感性で様々なアイデア・ノウハウをもたらしてくれました。この三学年が一致団結して進めていく準備過程は、大変刺激的であり私どもにとっても大変楽しい時間となりました。それぞれが各分野の第一線で活躍する優秀かつ個性溢れる人間の集まりであり、協調性にも富んだ高い人間性を持った正に岐阜高校の卒業生

であると感じ入りました。

私自身卒業以来、既に四〇年以上の月日が流れましたが、卒業後に社会の各方面で活躍される同窓生の方にお会いするたびに新たな刺激と元気を頂き改めて母校に対する誇らしい気持ちを感じました。また同級生と会い、話をしますと岐阜高校で過ごした時間がまるでついこの間のこのように甦ります。校歌の歌い出しの「千仞の嶽 金華山 百里の水 長良川」にもありますように風光明媚で素晴らしい岐阜の地で過ごした高校時代に思いを巡らせながら、今日の同窓会が同窓生との旧交を温め、更に今後の変わらぬ友情を育む機会となることを祈念申し上げます。どうぞ楽しいひと時をお過ごし下さい。

令和7年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 式次第

2025.5.7

1. 総会(11:00～11:35)

開会の辞

黙祷

同窓会会長挨拶 会長 村瀬 幸雄

学校長挨拶 校長 小野 悟

議案審議

第1号議案 令和6年度事業報告

第2号議案 令和6年度決算報告ならびに監査報告

第3号議案 令和7年度事業計画(案)

第4号議案 令和7年度予算(案)

閉会の辞

2. 懇親会(11:50～14:00)

開会の言葉 令和7年度同窓会総会運営委員会 委員長 山田 秀夫

恩師紹介

アトラクション 「岐高のいま～2025春～」上映

乾杯 在京(首都圏)岐阜高校同窓会 会長 尾関 良平

歓談

令和8年度同窓会総会運営委員会 委員長紹介 山田 誠(昭和58年卒)

校歌斉唱

閉会の言葉 令和7年度同窓会総会運営委員会 副委員長 松岡 正人

以上

議 事

<第1号議案>

令和6年度事業報告

第1回役員会	4月23日	岐阜高校
同窓会総会	6月2日	岐阜グランドホテル
グローバルスタディーズプログラム研修助成 8月19日～23日		
第2回役員会	9月10日	岐阜高校
基調講演会	11月8日	岐阜高校
講師：信田さよ子 氏(昭和40年卒)		
臨床心理士、原宿カウンセリングセンター顧問		
第3回役員会	2月4日	岐阜高校

<< 参考 >>

令和6年度 在京(首都圏)同窓会総会 7月7日 東京ドームホテル

<第3号議案>

令和7年度事業計画(案)

第1回役員会	4月22日	岐阜高校
同窓会総会	6月1日	岐阜グランドホテル
グローバルスタディーズプログラム研修助成 8月18日～22日		
第2回役員会	9月9日	岐阜高校
第3回役員会	2月3日	岐阜高校
基調講演会(期日などは未定)		

<< 参考 >>

令和7年度 在京(首都圏)同窓会総会 6月29日 東京ドームホテル

第2号議案 令和6年度岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	3,966,119	3,966,119	
同窓会入会費	1,065,000	1,050,000	3,000円/人 × 350人
特別会計から繰入金	600,000	600,000	
寄付金	0	317,867	昭和41年卒同窓会より寄付
受取利息	50	1,692	普通預金利息
雑収入	0	0	
計	5,631,169	5,935,678	

支出の部

役員会費	50,000	22,905	役員会(お茶代等)
慶弔費	50,000	4,150	
祝儀、饗別	200,000	138,600	在京(首都圏)岐阜高校同窓会等
総会運営費	300,000	300,000	令和7年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	130,270	在京(首都圏)岐阜高校同窓会出席者旅費等
通信費	20,000	11,640	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	100,000	93,500	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	250,000	143,000	管理料、登録・修正更新作業費
校史資料室整備費	100,000	62,637	資料整備用品等
卒業記念品	0	0	(令和4年度に3年間分購入済み)
同窓会事務局運営費	600,000	526,742	事務局人件費、光熱費等、事務局スマホ代
その他	0	170,500	卒業式バックパネル(昭和41年卒同窓会寄付金より充当)
雑費	20,000	3,300	振込手数料ほか
次年度繰越金	3,841,169	4,328,434	
計	5,631,169	5,935,678	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	7,379,423	7,379,423	
十六FG株式配当金	700,000	1,172,160	株式保有数8,142株
受取利息	50	3,744	普通預金利息
計	8,079,473	8,555,327	

支出の部

次年度繰越金	7,479,473	7,955,327	
一般会計繰出金	600,000	600,000	同窓会事務局運営費
計	8,079,473	8,555,327	

【総会特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	9,472,715	9,472,715	
総会運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	
総会余剰金		2,635,816	令和6年8月受け入れ
受取利息	100	5,555	普通預金利息
計	10,672,815	13,314,086	

支出の部

令和7年度総会運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	
振込手数料	550	550	
次年度繰越金	9,472,265	12,113,536	
計	10,672,815	13,314,086	

【グローバルリーダー養成事業特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
創立150周年記念事業より	14,240,000	14,240,000	(令和5年度に761,000円を助成済み)
受取利息	120	6,132	
計	14,240,120	14,246,132	

支出の部

グローバルスタディーズプログラム参加者助成	1,000,000	860,000	20,000円/人 × 43人
次年度繰越金	13,240,120	13,386,132	
計	14,240,120	14,246,132	

【母校支援特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
創立150周年記念事業余剰金より	12,975,820	12,975,820	
受取利息	100	5,912	
計	12,975,920	12,981,732	

支出の部

母校支援活動費	300,000	352,885	岐阜祭、基調講演会謝礼及び旅費
次年度繰越金	12,675,920	12,628,847	
計	12,975,920	12,981,732	

上記の通りご報告申し上げます。
令和7年3月31日

令和6年度岐阜高等学校同窓会
会 計 早川 徹
会 計 國井 重宏

上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。
令和7年3月31日

令和6年度岐阜高等学校同窓会
監 査 馬場 美穂
監 査 後藤 栄一郎
監 査 三浦 陽平



第4号議案

令和7年度岐阜高等学校同窓会 予算(案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	4,328,434	
同窓会入会費	1,065,000	3,000円/人 × 355人
特別会計から繰入金	600,000	
受取利息	300	普通預金利息
雑収入	0	
計	5,993,734	

支出の部

役員会費	50,000	3回
慶弔費	50,000	
祝儀、餞別	200,000	在京(首都圏)岐阜高校同窓会等
総会運営費	300,000	令和7年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	在京(首都圏)岐阜高校同窓会出席者旅費等
通信費	20,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	100,000	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	200,000	管理料、登録・修正更新作業費
校史資料室整備費	100,000	資料整備用品等
卒業記念品	550,000	500円/個 × 1100個(令和8年卒業生含め3年分)
同窓会事務局運営費	600,000	事務局人件費、光熱費等、事務局スマホ代
雑費	20,000	振込手数料ほか
次年度繰越金	3,703,734	
計	5,993,734	

※ 一般会計での科目間流用を認める

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	7,955,327	
十六FG株式配当金	1,100,000	株式保有数8,142株
受取利息	500	普通預金利息
計	9,055,827	

支出の部

一般会計繰出金	600,000	同窓会事務局運営費として
次年度繰越金	8,455,827	
計	9,055,827	

【総会特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	12,113,536	
令和7年度総会運営費繰入金	1,200,000	
受取利息	500	普通預金利息
計	13,314,036	

支出の部

令和8年度総会運営費繰出金	1,200,000	
振込手数料	550	
次年度繰越金	12,113,486	
計	13,314,036	

【グローバルリーダー養成事業特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	13,386,132	
受取利息	500	
計	13,386,632	

支出の部

グローバルリーダープログラム参加者助成	1,000,000	20,000円/人 × 50人
次年度繰越金	12,386,632	
計	13,386,632	

【母校支援特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	12,628,847	
受取利息	500	
計	12,629,347	

支出の部

母校支援活動費	400,000	岐阜祭、基調講演会謝礼及び旅費
次年度繰越金	12,229,347	
計	12,629,347	

岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員

顧 問	杉山 幹夫（昭和20年卒）	野々垣 孝（昭和31年卒）
	森川 幸江（昭和40年卒）	水谷 邦照（昭和41年卒）
	木方伸一郎（昭和46年卒）	遠藤 宏治（昭和49年卒）
名誉会長	小野 悟 岐阜高校 校長	
会 長	村瀬 幸雄（昭和50年卒）	
副 会 長	松波 英寿（昭和50年卒）	神谷真弓子（昭和51年卒）
	杉山 文康（昭和54年卒）	伊在井みどり（昭和54年卒）
	佐伯 淑子（昭和55年卒）	伊藤 知子（平成5年卒）
副 会 長 兼 会 計	瀬川 典秀（平成8年卒）	四ツ橋憲彦（平成13年卒）
	早川 徹（昭和61年卒）	國井 重宏（昭和61年卒）
監 査	馬場 美穂（平成元年卒）	後藤栄一郎（平成5年卒）
	三浦 陽一（平成8年卒）	

令和6年度岐校同窓会総会運営委員会決算書(案)

自 令和5年11月1日 至 令和6年8月31日

1. 収入の部

(単位：円)

科目名	6年度予算	6年度決算	6年度決算備考
本会預り金	1,200,000	1,200,000	特別会計より総会運営費
本会受入金収入	300,000	300,000	一般会計より総会運営費
会費収入	5,910,000	6,290,000	1万円×625名、5千円(事務局職員)×8名、0千円(来賓恩師)×12名
広告料・協賛金収入	6,000,000	6,430,000	広告掲載189件 協賛11件
受取利息	20	424	普通預金利息
雑収入	0	228,000	祝儀40千円、2次会余剰金188千円
収入の部合計	13,410,020	14,448,424	

2. 支出の部

(単位：円)

科目名	6年度予算	6年度決算	6年度決算備考
総会費(総会費)	6,500,000	6,096,624	㈱岐阜グランドホテル支払
総会費(イベント経費)	100,000	30,000	アトラクション費用
印刷費	2,900,000	2,751,307	払込票、広告依頼状、案内状、会報等
通信費	800,000	971,793	コンビニ収納再発送231千円
会議費	50,000	45,111	運営委員会会議費、飲料代金等
事務費	100,000	111,503	文具、コピー代等
支払手数料	150,000	210,375	コンビニ収納・振込データ集計手数料、銀行振込手数料
雑費	200,000	95,895	ホームページ更新料、出演者の旅費交通費等
反省会費	300,000	300,000	幹事反省会
本会預り金返金	1,200,000	1,200,000	本会へ返金
予備費	1,110,020	0	予備費の使用なし
余剰金	0	2,635,816	本会へ送金
支出の部合計	13,410,020	14,448,424	

上記の通りご報告申し上げます。

令和6年9月17日

加納 正嗣



西原 浩文



上記について監査した結果、適正に処理されていることをご報告致します。

令和6年8月31日

藤川 師弘



平塚 正人



令和7年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書

1. 収入の部

(単位：円)

科目名	金額	備 考
本 会 預 り 金	1,200,000	特別会計より運営資金として預り
本 会 受 入 金 収 入	300,000	一般会計より総会費として
会 費 収 入	6,040,000	10,000円×600名他
広 告 料 ・ 協 賛 金 収 入	6,000,000	
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	0	
収 入 の 部 合 計	13,541,000	

2. 支出の部

(単位：円)

科目名	金額	備 考
総 会 費 (総 会 費)	6,500,000	ホテル飲食 会場設営費
総会費 (イベント経費)	150,000	アトラクション
印 刷 費	2,900,000	会報、案内状、封筒、払込票他
通 信 費	880,000	総会案内状、広告依頼書発送費等
会 議 費	50,000	各種打合せ会議等
事 務 費	110,000	用紙代、事務費等
支 払 手 数 料	300,000	コンビニ収納手数料、振込手数料
雑 費	100,000	ホームページ更新料 等
反 省 会 費	300,000	反省会 次期引継費用
本 会 預 り 金 返 金	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還
予 備 費	1,051,000	
余 剰 金	0	
支 出 の 部 合 計	13,541,000	

岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第1条** (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第2条** (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第3条** (組織) 本会は次の会員を以て組織とする。
- 正会員
 - 岐阜県岐阜中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
 - 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
 - その他理事会の議を経て、会長の承認した者
 - 特別会員 現職員・旧職員
- 第4条** (役員) 本会は次の役員をおく。
- | | | |
|---------|-----|--------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 理事会に於いて推挙する。 |
| 名誉会長 | 1名 | 母校校長 |
| 会長 | 1名 | 総会に於いて選出する。 |
| 副会長 | 若干名 | 総会に於いて選出する。 |
| 監査 | 若干名 | 総会に於いて選出する。 |
- 第5条** (役員の任務) 役員の任務は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・理事会・幹事会を召集し、その議長となる。
 - 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは代行する。
 - 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
 - 監査は会計を監査する。
 - 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第6条** (役員の任期) 役員の任期は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条** (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回総会を開く。
- 但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第8条** (入会金) 正会員は入会金を納入する。
- 第9条** (経費) 本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第10条** (会計) 会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第11条** (支部) 本会には支部を設けることができる。
- 第12条** (同窓会事務局所在場所) 岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。
- 事務局には、若干名の事務局員をおくことができる。

(令和4年6月5日 一部改訂)

特集1

プロフェッショナルからの メッセージ

「多士済々」そんな言葉が思い浮かぶほど、

岐阜高校の卒業生は様々な分野で活躍しています。

今回の会報では、各界のプロフェッショナルに貴重な経験や知識を明かしてもらいました。

興味深くて、役に立ち、勇気づけられる、そんなメッセージをお届けします。

●私の原点

中外製薬株式会社 代表取締役社長CEO 奥田 修

難病に苦しむ患者に革新的な新薬を届ける製薬会社。その会社を率いる社長の原点とは。最前線の経営者が若い人に贈る熱いメッセージです。

●脳卒中をやっつけろ！

兵庫医科大学脳神経外科 主任教授 吉村 紳一

●がん克服のために ～岐阜県に最新医療技術を～

岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科教授 二村 学

日本人が寝たきりになる原因1位の脳卒中。日本人の死因1位のがん。これらの恐ろしい病気からどう身を守るか。万が一、かかった時にどんな医療が受けられるか。2人の名医からの健康で長生きするためのアドバイスです。

●新しいお札の話

元 国立印刷局研究所 上席研究員 武藤 直一

1万円札の肖像が渋沢栄一に変わったことが話題になった、去年発行の新札。このお札作りにも岐阜高校の卒業生が関わっていました。技術開発に携わった研究者による日本のお札の紹介です。

「私の原点」

中外製薬株式会社
代表取締役社長CEO

奥田 修



この度は同窓会会報への寄稿という貴重な機会を頂き、ありがとうございます。私は昭和五七年（一九八二年）に、岐阜高校を卒業しました。これまでに

多くの方に出会い、影響を受けながら人生を歩み、現在は中外製薬株式会社という製薬会社で社長CEOをしています。この機会に、私の職業人生を振り返ることで、将来どんな仕事をしようかと考えはじめた高校生の皆さんや、まさに今就職先を真剣に考えている大学生の皆さんにとって、少しでも参考になれば嬉しく思います。

■私の原点 祖母との思い出

私は一九六三年に、岐阜県の飛騨高山市で生まれ、大学を卒業するまで岐阜で過ごしました。両親からは活発な子だったと聞いています。大学は薬学部を卒業し、中外製薬という製薬会社に就職しました。それまで数多くの選

択肢を選んできましたが、その背景には母方の祖母の病気のことがありました。

祖母は関節リウマチを患っていました。手の指など体中の関節に炎症が起きて、進行すると関節が変形していきます。自分の体に自分の免疫が反応してしまう、自己免疫疾患という病気です。祖母は目があまり良くなかったので、私の顔や体を手で触って成長したことを確認していました。そのたびに祖母の手を見て、子ども心に何とかならないかと考えたものでした。この頃はまだ関節リウマチに対する良い薬がなく、せいぜい消炎鎮痛剤がある程度。病気の進行を止めることは殆どできませんでした。

■薬学部への進学を決意

岐阜高校では卓球部に所属し、毎日友人と楽しく過ごしていました。当時

の私の優先順位はまず友人、最後に勉強でした。勉強のことはあまり記憶にありませんが、二年生の時のことを強烈に覚えています。私は、二年生の時に化学を学んでいました。その先生の説明が非常に明快で、私にとって化学が非常に簡単な学問のように思えたのです。その先生は、生徒一人ひとりのポテンシャルを最大限に引き出す指導をしてくれていたと思います。私には、薬学部を目指すなら東大とか京大に行った方がいいと言ってくれていました。ただ、そうでもないなら寿司屋の丁稚の方が良いのではないかと強く言っておられました。この頃はまだぼんやりとしか自分の将来のことを考えていませんでしたので、もし寿司職人への道を選んでいたらまったく違った人生になっていたと思います。最終的には、祖母のような病気に苦しむ人の役に立ちたいという想いがあり、薬学の道を進むことに決めたのです。

■就職先の決断

そして岐阜薬科大学に入学し、薬学を勉強しました。大学三年生になって、英語ぐらい喋れるようになったほうが良いと考え、学校を一年休んでアメリカに行きました。四年生になって、薬品化学研究室に所属しました。化学合成で医薬品をどうやって作るかという研究をしている研究室です。そして大学も卒業が近くなって、どこに就職しようかと考え始めました。その時は、

薬剤師の資格を取って病院薬剤師として働くか、あるいは製薬会社に入って新薬の研究開発をしようか、迷っていました。より多くの患者さんを救うためには製薬会社が良いかなとも思っていました。研究室の教授に相談すると、中外製薬と田辺製薬かどちらに行きたいかと逆に問われました。国際展開を担える人材をこの二つの会社が探しており、私がアメリカに留学していたので、おそらく教授が会社に声を掛けてくれたのだと思います。当時、中外製薬は東京に、田辺製薬は大阪に本社がありました。東京の方が世界に近いだろうと思い、中外製薬を選んだのです。

■中外製薬について

さてここで、会社の歴史も含めて、現在の中外製薬についてご紹介させていただきます。

一九二三年、関東大震災が起きました。死者・行方不明者が一〇万人を超えるという大災害です。東京の一部は焼け野原になりました。生活物資の入手もなかなかできないし、医薬品も足りません。中外製薬の創業者である上野十蔵は、この悲惨な状況を見て、世の中の役に立つ薬づくりに一生を捧げようと決意しました。そして、いずれは日本(中)で生み出した薬を世界(外)に届けたい、「中から外へ」という想いを「中外新薬商會現…中外製薬」という社名に込め、一九二五年に創業したのです。

当初は、海外から医薬品を輸入し販売していました。次いで、自社でも医薬品の製造を始めました。その後一九六〇年代には医療用医薬品、一九九一年にはバイオ医薬品、いわゆる化学合成ではない医薬品の領域に入っていました。さらに、二〇〇二年にはスイスの世界的な製薬会社であるRocheとの戦略的提携を開始しました。現在の中外製薬は、医療用医薬品の研究開発・生産販売をしています。がん領域、抗体医薬品で国内ナンバー1の会社です。さらに、中外製薬が創り出した革新的な医薬品は、Rocheを通じて世界の患者さんに届けられており、年間合計売上高は一兆円を超えています。時価総額は、一兆円を超えて、日本の上場企業の上位一位に入るまでになりました。上野十蔵の「中から外へ」という夢は見事に叶えられたのです。

■ 中外製薬での私のキャリアと運命の出会い

私が大学を卒業して中外製薬に入社したのは、一九八六年のことです。入社した直後は国際開発部というところに所属したり、薬学の博士号を取得したり、上司や周囲に薦められてさまざまな経験を積みました。一度だけ、自分の選択で部署が変わった経験があります。臨床開発といって、患者さんに薬を投与して効果と安全性を確認する部署です。

臨床開発部に異動してから、ある抗体医薬品の担当になりました。それがなんと、関節リウマチの薬として開発されていたのです。運命だと思いました。祖母の関節リウマチをきっかけに薬で人を助けたいと薬学を志し、祖母が苦しんでいた病気を治す可能性のある薬に出会うことができたのです。私はこの製品のプロジェクトリーダーをやることになりました。何としてもこの薬を患者さんに届けたいという想いに突き動かされて、大変なことも沢山ありましたがとても充実した日々を過ごしていました。結果的に一〇年以上担当し、日本、アメリカ、ヨーロッパでも開発が成功して、かなり多くの患者さんに使われています。この薬は関節リウマチだけでなく、今回の新型コロナウイルスの重症化した時に起きる肺炎に対しても効果を認められ、世界中で使用されました。

その後も、いろいろなことをしてきました。例えば、Rocheのアイランドの子会社の社長をやったり、日本ではがん領域の営業のヘッドをやったり、あるいは経営企画のヘッドをやったり。いくつかの部門の責任者を経験した後に、二〇二〇年に社長になりました。

■ 社長の仕事

社長の仕事は色々ありますが、一番大切な仕事は、どんな会社になりたいか、どんな会社にしたいか、という将来のビジョンを示すことです。そのためには、将来のビジネスの環境がどうなっていくかを予測することが大切です。社長になった最初の大きな仕事は、それでした。環境がどう変わっていくかを冷静に分析した上で、社長としてどんな会社になりたいのかを情熱を持って描き社員に伝えるのです。私は、二〇三〇年にヘルスケア産業のトップイノベーターになるという宣言をしました。トップイノベーターとは、世界の患者さんが中外製薬なら何か新しい薬を作ってくれるのではないかと期待するような会社、世界で働く人が中外製薬に入社して一緒に薬を作りたい、あるいはベンチャー企業や他社が中外製薬と一緒にやれば何か新しいことができそうと感じさせる会社、そして、中外製薬のようにになりたい、ロールモデルにしたいと思わせるような会社です。そして、その目標を達成するために、TOP-2030という戦略を立てました。この戦略を実行し、トップイノベーターとなることで、中外製薬からより多くの革新的な医薬品を生み出し、世界の患者さんに貢献することができると信じています。

この目標の原点には、やはり祖母への想いがあります。世界では約七〇〇種類の希少疾患があります。が、九五%の疾患では未だ有効な治療薬がないと言われています。祖母が関節リウマチで苦しんでいたように、有効な治療薬がなく苦しんでいる患者さんが世界に大勢いるのです。その患者さんのために革新的な医薬品を生み出して届けることで、人生を思い切り楽しんでもらいたい。誰もが病の苦しみから解放された世界を創りたい。そんな想いで、社長の仕事に取り組んでいます。

■ 最後に

最後に、高校生や大学生の皆さんに、私が考える「働くことの意味」についてお話しします。

これまで皆さんは、高校、あるいは大学までずっと学んできました。卒業後、皆さんは社会に出て働くことになります。働くというのは、自分が持っている価値を転換して、社会のために貢献することです。企業に入ってお客さんのためにサービスを提供すること、お医者さんになって患者さんに治療をすること、あるいはベンチャーを自分で起業すること。すべて自分の能力を社会の価値に転換することで、社会に貢献しているということです。では、どんな価値を生み出し、どう社会に貢献していきたいか。それは人それぞれです。私の場合は、祖母の存在が大きく影響しました。自分で気付くこともあれば、周囲の人が気付かせてくれることもあるでしょう。ぜひ学生の間に、多くのことに挑戦し、多くの人と出会い、多くの経験を積んでください。働くことは、本当におもしろいです。

脳卒中をやっつけろ！

兵庫医科大学脳神経外科 主任教授
吉村 紳一

吉村 紳一



自己紹介

みなさんこんにちは。昭和五七（一九八二）年卒の吉村紳一といえます。私は脳神経外科、特に脳卒中を専門としています。まずは私の経歴を紹介させていただきます。

高校時代は遊んでばかりでしたが、「メス一本で患者さんを救うブラックジャックのような外科医になりたい」と一念発起して岐阜大学医学部に入学しました。卒業後は脳神経外科に入局し、泊まり込みで頑張ったところ、一九九二年から国立循環器病研究センターで研修する機会を得ました。国循環ではハイレベルの診療に触れて大きな刺激を受け、貴重な人脈も得ることができました。その後、岐阜大学に戻り、大学院生として生化学教室での研究を指示されました。有名な研究室でしたのでワクワクしていたのですが、その後、この研究室は夜間も電気が消えない「不夜城」と呼ばれていることを知りました。詳細に書けないような、今ではあり得ないレベルのハードスケジュールでしたが、そのおかげで

有名医学雑誌に論文を複数掲載できましたし、その業績をもとにハーバード大学マサチューセッツ総合病院に留学できました。ハーバードは極めて競争的な環境でしたが、日本で培ったワカホリックさを発揮したところ、意外にもボスの共感を呼び、想像以上の研究結果を出すことができました。その結果、二〇〇一年からはスイスのチューリッヒ大学脳神経外科で世界トップレベルの手術トレーニングを受けることができた、ということなのです。

このように根性と運のみで渡り歩いてきた私ですが、日本に戻ってからは、それまで受けたトレーニングをもとに多くの手術を担当させていただき、二〇〇四年から岐阜大学脳神経外科准教授を務めさせていただきました。メディアにも多く出演させて頂き、そのおかげもあってか、二〇一三年九月からは兵庫医科大学脳神経外科主任教授のポストを得ました。関西でも非常に多くの患者さんに恵まれ、脳外科の手術数としては関西トップになっています。また最近では、自分が若い頃に受けた恩返しとして、海外ドクターの研

修受け入れもしています。関西での勤務が一〇年を超えました現在も、大垣徳洲会病院で月に一度、外来や手術を行っており、地元の方々の患者さんや知り合いを診療しています。

さて、それでは私の専門である脳卒中の最新情報を紹介します。脳卒中はひとたび発症すると半身麻痺や寝たきりなど重度の後遺症を残すことが多い病気で、死亡率は第四位ですが、寝たきりの原因の第一位として知られています。

みなさんは、「脳卒中は突然起きるから予防できない」と思っていますか？以前にNHKに取材を受けた際、



図1 書籍「脳卒中をやっつけろ！」



図2 YouTube「脳卒中をやっつけろ！」

脳卒中とは？

記者の方が「脳卒中って雷に当たるような運の悪い病気ですよ？」とおっしゃって、大変驚いたことがあります。医療専門の記者でもご存知なかったのですが、実はほとんどの脳卒中は予防可能なのです。その原因は体の中に潜んでいますので、それを見つけて予防策を講じれば、高い確率で防ぐことができるというわけです。今回は脳卒中の予防法について、毎日の健康管理から薬や手術まで概説します。詳しくは、書籍「脳卒中をやっつけろ！」（三輪書店）（図1）やブログ、そして私のYouTube（図2）で詳しく解説していますので、ぜひこの機会にご覧ください。

「脳」が「卒（急）」に「中（当たる）」、つまり「脳が急に悪くなる」ということです。現在では脳の血管が切れて出血したり（脳出血、くも膜下出血）、つまり（脳梗塞）を指します（図3）。

脳卒中とはなにか？

脳の血管が切れて出血する

脳出血
くも膜下出血

脳の血管がつまる

脳梗塞

■脳卒中の症状は？

「顔の片方がうごきにくくなる」、「手が上がらない、動きにくい」、「言葉が出なくなる、呂律が回らなくなる」という三つの症状が典型的です。「顔と手と言葉」、このうちの二つでも異常があれば脳卒中の可能性が七二%あると報告されています。ですので、「脳卒中かも?」と思ったら、まずこの三つをチェックし、もし脳卒中が疑われるようならすぐに救急車を呼んでください。

脳卒中の3症状

- (1) 顔の異常
顔面の動きが左右非対称
- (2) 腕の異常
一方の腕があがらないか、保持できない
- (3) 言語の異常
不明瞭な発語や単語を間違える、あるいは全くしゃべれない

1つでも異常なら、
脳卒中の可能性は72%

■脳卒中の検査法は？

医師の診察の上、頭部CTスキャンやMRIが行われます。これらによって短時間に診断が可能です。脳卒中になるのともとも脳の血管が細かったり、脳の血管が膨らんでいるような方

がほとんどです。ただし、これらは症状がありません。このため、脳ドックなどを受けて、異常がないかどうか積極的に調べるのが大切です。

■脳卒中の治療法は？

病気の種類や程度によって様々なものがありますが、大きく分ければ、①薬による治療、②カテーテル(細い管)を使った治療、③外科手術、の三つになります。

■治療の最前線

最近、脳血管のカテーテル治療が急速に発達しています。私は早くからの治療に取り組み、幸運にも国内トップレベルの治療数を経験してきました。ごく最近では手首のあたりを注射して、局所麻酔で三〇分程度で治療ができるようになっています。患者さんは術後すぐに歩いてトイレにも行けます。以前であればリスクの高い、大がかりな開頭手術が必要だったような患者さんも、低侵襲に短時間で治療ができるようになったのです。その様子をYouTubeでわかりやすく紹介していますので、ぜひご覧ください。



YouTube
脳動脈瘤治療の実際

■「脳卒中にならない五カ条」

さて最後に、みなさんにとって最も重要な「脳卒中にならない五カ条」を紹介いたします。これは私が作成して、前述の「脳卒中をやっつける」(図1)で紹介したのですが、きつとお役に立つと思います。

『その一 敵を知り』…まず脳卒中がどのような病気かを知りましょう(前述のYouTubeをご覧ください)。

『その二 己を知れ』…次に自分自身に脳卒中の原因が潜んでいないか調べましょう。脳の血管の異常はほとんどが無症状で、倒れて初めて気づく人が多いのです。脳ドックを受けるのも良いですし、一定の症状がある方は保険で検査が可能です。検査をご希望の方は私までご一報ください。格安で検査を受けられるようにサポートします。

『その三 危険を避け』…脳卒中になりやすくなる危険因子がわかっていきます。それは、高血圧、糖尿病、高脂血症、喫煙、心房細動、大量の飲酒などです。これらを見つけ、まずは自然な治療法をしましょう(食事療法、運動、禁煙など)。これらだけでも脳卒中になるリスクを大きく減らすことが可能です。

『その四 薬を煎じ』…前述のような自然な方法だけで血圧が下がらない、糖尿病やコレステロールが下がらない方は薬の内服が有効です。かかりつけ医

を作って健康管理に努めましょう!

『その五 術を使え』…脳動脈瘤や頸動脈狭窄症など、薬などでは予防しきれない場合があります。そのような場合には、手術が必要なこともあります。治療が本当に必要かどうか、治療はどんな方法が安全で効果的かについては専門医とじっくり相談する必要があります。ご希望の場合には相談に乗りますのでご一報ください。

■まとめ

脳卒中は日本人の国民病とも言われるほど多く、もし後遺症を残すと自身の家族にも負担のかかってしまう病気です。脳卒中を予防して、健康寿命が伸びるよう積極的に取り組まれることをお勧めします。

この度は貴重な機会をいただきありがとうございます。この情報が皆様の健康維持のお役に立つことを願っております。

吉村紳一

E-mail: shinyoshi23@gmail.com

電話: 〇七九八 四五六四五

兵庫医科大学脳神経外科

〒六三三 八五〇一

兵庫県西宮市武庫川町一

がん克服のために 岐阜県に 最新医療技術を

岐阜大学医学部附属病院
乳腺外科教授

二村 学



■はじめに

皆さん、こんにちは。昭和五七（一九八二）年卒業の二村学と申します。この度、岐阜高校同窓会報に寄稿する機会を頂きましてありがとうございます。今年で卒業後四三年となり、還暦も超えました。現在私は、岐阜大学医学部附属病院に乳腺外科医として勤務しております。本稿では高校卒業当時からの時代の流れを振り返り、時代とともに生まれてきた技術の進歩を再確認し、今を生きる私たちにとって必要なこと、思うことを述べてみたいと思います。

高校卒業時一九八二年頃の日本を思い起こしてみると、バブル期突入前で、国内総生産（GDP）もアメリカに次いで世界第二位（現在はアメリカ、中国、ドイツについて四位）、大学進学率も

■寿命は延びて幸せになる？

五〇％程度、当時のヒットソングは「待つわ…あみん」「セーラー服と機関銃…薬師丸ひろ子」「聖母たちのララバイ…岩崎宏美」など、今でも歌われる名曲が流行し、お昼のバラエティー「笑っていいとも」の始まった年でもありました。私たちがその後社会に出て行った時期と、バブル期が丁度重なっていましたので、この世代を生きた方々は善きにつけ悪しきにつけ、当時を特に懐かしき良き時代と思われることでしょう。

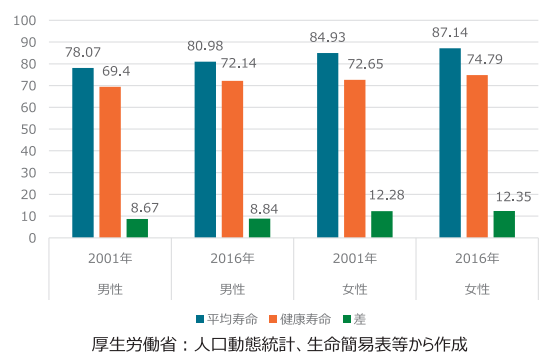
社会の発展・進歩はあらゆる面でわたしたちの生活を変え、その結果、社会構造も随分変化してきました。近年盛んに耳にするは「少子高齢化」です。一九八〇年代初頭、日本の総人口は一億一八〇〇万人でしたが漸増し、

二〇〇八年の一億二八〇〇万人をピークに、減少の一途を辿っています。出生率も一九七四年の第二次ベビーブーム以後減り続け、一九八二年は一・七七人、二〇一九年は一・三六人、二〇二三年は一・二〇人まで下がっていることから、今後の日本の人口は更に減り続けます。平均寿命は二〇〇一年、男性七八歳、女性八四歳でしたが、二〇一六年には男性八一歳、女性八七歳まで伸びており、より多くの方が長生きできる時代になったといえます。

その一方で、健康上の問題で日常生活に制限のない期間を指す「健康寿命」は二〇〇一年男性六九・四歳、女性七二・七歳であり、平均寿命との差は男性八・六七年、女性一二・一八年です。この差が大きいほど、健康上の問題によって、何かしら制限のある生活を送っていることを意味します。すなわち入院や介護などの期間が長くなることとが予想されます。二〇〇一年と二〇一六年を比較しても、男女とも平均寿命と健康寿命の差は縮まっています（図1）。日本のみならず、先進国では少子化によって人口減少に向かう一方、平均寿命は延びており、少子高齢化を特徴とした人口減少に向かっていきます。私もいよいよ高齢者（一般的には六五歳以上）の領域に突入目前ですが、健康を維持し健康寿命を延ばしていきたいものです。

私たちの健康を害する病気には様々

図1：日本国民の平均寿命と健康年齢の関係



なものがあります。日本人の死亡原因を見ると、昭和二〇年代前半（一九四〇年代）までは結核が最多でしたが、結核治療の成果によって結核は激減し、脳血管障害が死亡原因の第一位となりました。脳血管障害は昭和四〇年代（一九六〇～一九七〇年代）を境に漸減し始め、一九八一年以後は悪性新生物（がん）による死亡が一位を占めるようになり、現在まで悪性新生物は、我が国の死亡原因不動の第一位です。二〇二三年国民一五七万人の死亡原因は、悪性新生物二四・三％、次いで心疾患一四・七％、老衰一二・一％、脳血管障害六・六％、肺炎四・八％でした。このように悪性新生物は年間三十八万人、特に四五～九四歳における死亡原

因の第一位です。国民の四人に一人はがんで亡くなる時代ですので、私たちは、がんとどう向き合っていくかが大変重要になります。

■がんを国民、その克服のために

がんは世界中の医学者の研究によって、「遺伝子の異常」によって起こることが明らかになりました。生活環境の中で自然に、がん発症やがん抑制に係る遺伝子に傷がついた場合(タバコ、深酒、放射線、紫外線、性ホルモン刺激、炎症など)によって、がんに関係する遺伝子の異常を遺伝的に受け継いでいる場合があげられます。こうした遺伝子の異常を持った細胞が、知らない間に制御不能な細胞へと変化し、正常な細胞(生体)を脅かすようになり、生命さえも奪ってしまうのががんの恐ろしいところです。がんにかざらず、多くの病気(糖尿病、高血圧、神経変性疾患、喘息、血友病、先天性代謝疾患など)が遺伝子レベルで病態説明され、新たな治療開発へと繋がっています。私が医学の道をめざした一番の理由は、「癌…がん」という病気がありこれを何とかしたい、がんて苦しむ人を何とかしてあげたい、という気持ちでした。

時代とともに我が国のがんの特徴は変わってきています。一九九〇年に男性では二三万人の方が罹患し、胃、肺、大腸、肝臓の順、女性では一七万人以

上が罹患、胃、乳房、大腸、子宮、肺の順でした。二〇二〇年には男性では五十三万人が罹患し、前立腺、大腸、肺、胃、肝臓の順、女性では四十一万人で乳房、大腸、肺、胃、子宮の順になります。男性では前立腺がんやすい臓がんが、女性ではすい臓がん、子宮がん、大腸がん、肺がんが増えていきます。一方男女とも胃がんはピロリ菌の検査普及と除菌によって、肝臓がんはB型、C型肝炎(いわゆる輸血後肝炎対策の充実)によって減少しています。

がんの予防医療には一次予防、二次予防、三次予防の3段階に分けられています。一次予防は「病気にならないこと」であり例えば、がんにならないための新十二か条などを守ることがそれに相当します。二次予防は「病気を悪化させないこと」であり人間ドックや健康診断(がん検診)による早期発見・早期治療がそれに相当します。三

表：がんを防ぐための新12か条

1. たばこは吸わない
2. 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
3. お酒はほどほどに
4. バランスのとれた食生活を
5. 塩辛い食品は控えめに
6. 野菜や果物は不足にならないように
7. 適度に運動
8. 適切な体重維持
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療
10. 定期的ながん検診を
11. 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
12. 正しいがん情報でがんを知ることから

2011 国立がん研究センターがん予防・検診研究センターがまとめ、がん研究振興財団によって公開

次予防「すでに発症している病気の治療・重症化の予防」であり実際のがん治療の多くはここに含まれます。一次予防でいうがんを防ぐための新十二か条を見てみますと、禁煙、節酒、バランスのとれた食事、適度な運動と体重維持、感染症予防、定期的ながん検診、といった昔からどこかで見たり聞いたりにしている内容です(表)。

これらはがん予防だけではなく、心疾患、脳血管障害、糖尿病、高脂血症、肥満等々、成人病やメタボリック症候群といった、生活習慣病の予防にも不可欠な内容であることがお分かりいただけると思います。まさしく暴飲暴食・肥満は万病の源というわけです。こうした一つ一つの心掛けが生体のDNA損傷を最小限にし、がんの発症も抑えることができるというわけです。いくらか気を付けた生活をすると言っても、ある確率で病気(がん)になることは仕方ありませんので、早期発見・早期治療が重要というわけです。厚生労働省が二〇〇七年(平成一九年)に発表した、がん対策推進基本計画においては、五大がん(胃、大腸、肺、乳、子宮)を中心として、がん検診受診率五〇%以上を目標としました。しかし一〇年経過しても五〇%を超えたのは男性の肺がん検診だけです。特に罹患数の多い乳がんに注目してみても、ヨーロッパ諸国では乳がん検診受診率は軒並み七〇%以上、アメリカも八〇%、

お隣の韓国でも七〇%近いのに対して、日本は低いと言わざるを得ません。九人に一人がなるといわれる乳がんですえ、「まさか私はならないであろう」という、日本人にありがちな根拠のない先入観があるのかもしれない。多くのがんは四〇歳から増えだし、六〇歳からは指数関数的に増えていきます。最初の話に戻りますが、二人に一人ががんになり、四人に一人はがんになくなるのが現代です。

■最新医療技術を地域の皆様に届ける

科学の進歩はヒトの生活を豊かにしてきましたが、医学の領域でも幾多の困難を乗り越えてきました。その最終形である平均寿命の延びを見ても明らかです。感染症、心疾患、脳血管障害は内科的なコントロールもあって、今まで以上に制御可能になってきました。多くのがんもそうなりつつありますが、がんを乗り越え、健康年齢を伸ばすことができれば、私たちの人生もまだまだ楽しめそうです。

がん治療といえば集学的治療が不可欠な時代です。私が外科医師になった頃、今から三〇年以上前ですが、多くのがん(胃、大腸、乳、肺、子宮がんなど)はとにかく手術で取り切ることのできる精度がなくて、見つかるがんの多くはすでに相当進行していること

がほとんどでした。集学的治療というのは手術だけでなく、再発予防や、万が一再発してしまった場合でも、生存率を伸ばすような有効な薬剤を投与すること、放射線治療を個々の状態に応じて適切に施行すること、こうしたあらゆる治療のバランスを測り、生活の質を維持させながら行うもので、現代のがん治療の特徴と言えます。がん全体の五年相対生存率は、一九九三年から二〇一一年で五三・二%から六四・一%まで上昇、限局性(早期症例を多く含む)で八四・六%から九二・四%、領域性(ある程度の広がりや転移がある)は四三・二%から五八・一%、遠隔性他の臓器に転移している)の場合も一〇・二%から一五・七%まで伸びています。これは早期発見率の上昇に加え、集学的治療法の確立の賜物です。実際今、私たちが取り組んでいる現代のがん治療のなかで、ここ数年で発展している新技术をいくつか御紹介しましょう。

1. ロボット支援下手術

消化器外科、泌尿器科、産婦人科、呼吸器外科などで用いられ、世界的にも急速に広がっています。手術用ロボット(例えばここでは、ダヴィンチという名前の手術用ロボットです)で体に小さな穴を開け、手術用鉗子(つまんだり、剥がしたり、切ったりして目的の病巣を切除する道具)を挿入し、術者が操作用コンソール内でモニター

を見ながら、手術鉗子を装着したロボットアームを操作して手術を行います。ロボットを用いて医師が手術を行うのです。鉗子は自由に屈曲するため細かい作業にも優れ、また骨盤や胸腔(胸の奥)など、従来は深く見にくかった所がしっかりと見え、安全で確実な操作が可能となります。また患者さんにも負担の少ない手術の実現が可能で急速に広まっています(図2)。

図2：ロボット支援下手術



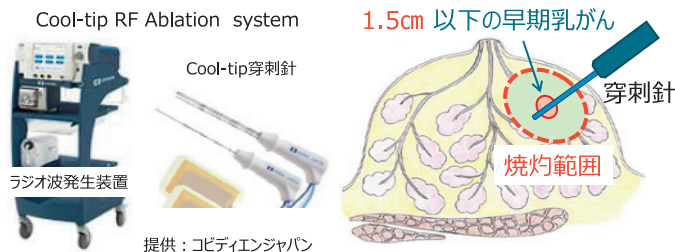
手術ロボットは、患者さんの体内にロボットアームを挿入し、操作用コンソールで手術用鉗子を操作しますので、胸腔・腹腔の奥深くの病変であっても、到達可能で安全かつ高精度の手術が可能になりました。今後遠隔操作による手術も可能になっていくでしょう。

2. 早期乳がんにおけるラジオ波焼灼療法(RFA)

本法は肝臓がんの治療に用いられたのが最初ですが、早期乳がんの治療にも適用されるようになりました。

乳がんの手術は乳房を全て切除(全摘)あるいは一部分を切除(部分切除)する場合と比較して、傷はわずか二mmと小さくほとんどわかりません。小さな傷からわずか一・二mmの穿刺針を刺し、ラジオ波通電時に発生する熱によってがんをピンポイントに焼いてしまふ技術です。整容性(形、見た目)に

図3：早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法(RFA)



RFAは、超音波ガイド下に、乳癌を穿刺して焼灼します。これによってこれまで切除が必要であった乳房を傷つけることなく、治療出来るようになってきました。

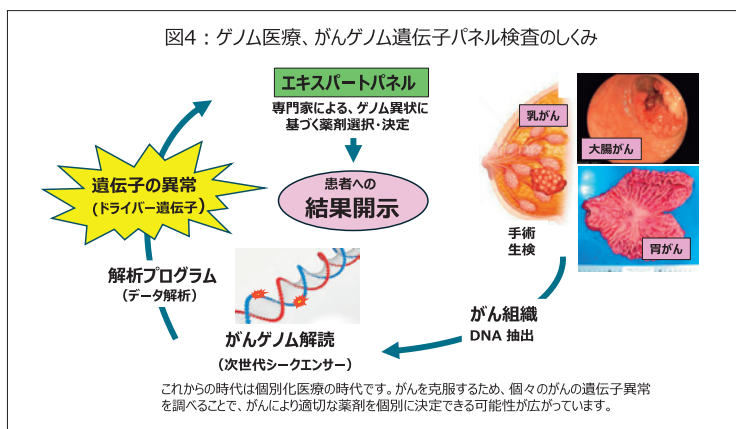
優れ、手術時間も短く、入院期間も短いなどのメリットがあります。本法は、一・五cm以下の早期乳がんが適応ですので、普段から乳がん検診を受けていれば、たとえ乳がんになってしまったとしても、こうした体に優しく整容性に優れた治療の恩恵を受けることができます(図3)。

3. ゲノム医療

組織生検や手術で取り出した患者さんのがん組織からDNAを抽出し、がんの原因である遺伝子の異常を調べます。がん患者さんにとって有効な薬剤を見つけるのが目的で、遺伝子異常を治療に結びつけようとする検査を指します。遺伝子の異常はがんの種類や個人で異なりますが、その遺伝子異常に対して有効な薬剤が見つかる場合があります。これまでになかった新たな治療方法を示せる場合があります。このゲノム医療は、二〇一五年アメリカのオバマ前大統領が、個別化医療の推進を一般教書演説の中で述べたことに端を発し、世界中で急速に広がりました。

日本でも二〇二一年から、数百のがん関連遺伝子の異常を調べる「がん遺伝子パネル検査」が保険適用となり、国家プロジェクトとして始まりました。本検査の提出は、患者一人に一回限りで、がん再発時、標準治療(現時点で行いうる最善の治療)終了または終了予定で、状態の落ち着いている患者さんに限定されます。現時点では、

薬剤到達率がまだまだ低い（一〇％程度）ことが最大の問題点であり、本検査の活用法の再検討が必要でしょう。これまでに九万件近い患者さんががん遺伝子パネル検査を受け、日本国民のがんゲノムデータベースが構築されており、今後の我が国の医療開発に役立てられるものと、大いに期待したいものです（図4）。



進む医療システムの再編成

岐阜県のみならず、全国には様々な医療機関が存在します。個人のクリニックや医院（入院施設のない無床診

療所）は、私たちが、まず最初に受診する医療機関です。そして入院施設（二〇床以上）を持つ病院として、一般病院と高度医療の提供を行う特定機能病院があります。がんの場合ですとがん診療拠点病院として、がんに関する高度医療を行う施設があります。岐阜県の場合、都道府県がん診療連携拠点病院として岐阜大学医学部附属病院が、地域がん診療連携拠点病院として八病院（岐阜県総合、岐阜市民、大垣市民、中部国際、松波総合、中濃厚生、県立多治見、高山赤十字）があります。この九病院が、岐阜県の高度がん診療の中核を担います。地域ごとにクリニックや医院と連携しながらがん診療を進めています。これはがん対策基本計画が目指していた、地域におけるがん医療の均等化（きんてんか）医療技術の格差の是正を図ることとシームレスな医療の提供を目的に、役割分担を明確にしつつ、九病院が協力して、がん地域連携パスを活用しながら育ててきました。岐阜県では治療病院（がん診療連携拠点病院）とフォローアップ機関（クリニック・医院）の架け橋となるように、がん地域連携パスの有効活用に一三年以上前から取り組んでおり、岐阜県の地域連携パスの浸透度は全国のトップ五です。こうした医療連携が岐阜県では進んでおり、岐阜県民の健康の維持増進に大きく貢献しています。

岐阜の現状と今後

日本の人口は今後減少の一途をたどり、二〇五〇年には約一億人まで縮小、七割以上の市町村で人口が二〇％以上減少、六五歳以上の人口が五〇％以上の市町村が三〇％にも及ぶと推測されています。高齢者の増加幅は落ち着くとはいえ超高齢化社会に向かうのは違いなく、現役世代の減少が加速する、と予測されています。岐阜県も一九八〇年代に二〇〇万を超え二〇〇〇年を人口のピーク二〇万人から減少、二〇二〇年には二〇〇万人を割りました。二〇五〇年には一三六万人まで減少し、六五歳以上の人口が四一％と、更に高齢化が進むという試算もあります。国も人生一〇〇年時代に対応した生涯現役社会の実現を掲げてはいるものの、郡部の町村はさらに減少し、都市部ですら高齢者の街になることは目に見えています。

私は政治家ではありませんので、世の中を直接動かすような大それたことはできませんが、医学研究者の端くれとして今も継続して行っていること・心掛けていることは、常にリサーチ・マインドを持ち続けること（医学も研究として常に新しいことを発見するように努める）、次世代の若者に技術・経験のみならず、プロフェッショナルとしての魂を確実に伝えるように努力していることです。国内・国外に常に眼

を向けながら、岐阜にもその技術を遅滞なく導入して、岐阜のがん医療レベルを向上・維持させ、それを伝承していつてくれる次世代のプロフェッショナルを一人でも多く育てていく、これこそが自分ひとりが治せる患者さん以上に、もっと多くの患者さんに医療を届けることができると思っています。例えば引退・退職の代名詞であったころから、今は老いも若きも全く普通に働く時代になってきています。歳を重ねて楽になる時代ではなさそうです。まだまだ社会への貢献を目標に、日々生きていくことが、今回何度も述べてきた健康年齢を伸ばすことにつながると思っています。

岐阜高等学校で学び、社会に貢献しようと思い、あつという間に四三年が経ちました。校歌の歌詞に「国家の為に明け暮れ学ぶ」という文言があります。今の時代にピッタリかどうかはともかく、岐阜高校を卒業しても、この歌詞が頭から離れず、刷り込みによるのか？時折口ずさんでいるのは自分だけでしょうか。これが歴史・伝統の重みだなあと、今更ながら感じています。岐阜高校よ永遠に！

新しいお札の話

元国立印刷局研究所 上席研究員

武藤直一



きます。

そもそもお札とは

日本のお札は、財務大臣の製造命令に従って中央銀行である日本銀行の発注に基づき、国立印刷局で製造されています。正式な名称は「日本銀行券」です。日本銀行に納入されたお札は、金融機関を通じて世の中に供給されます。年間約三〇億枚のお札が日本銀行に納入されており、一年分を積み重ねると、その高さは富士山の約八〇倍になります。

ここが変わった新札の特徴

(1) 一万円札は渋沢栄一に(写真1)
昨年七月に、偽造抵抗強化等の観点から新しいお札が発行されました。その新札のデザインと特徴について紹介させて頂きます。

表面に描かれる肖像は、一万円札が福沢諭吉から渋沢栄一へ、五千円札が樋口一葉から津田梅子へ、千円札が野口英世から北里柴三郎へと変更されました。

裏面図柄には、一万円札に赤レンガ駅舎として親しまれた歴史的建造物の「東京駅(丸の内駅舎)」、五千円札に古事記や万葉集に登場し、古くから親しまれている花「フジ(藤)」、千円札に江戸時代の浮世絵師葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景(神奈川沖浪裏)」が、それぞれ描かれています。

(2) ひげに負けた?

前回選ばれなかった意外な理由

世界のお札には人物の肖像が描かれていることが多いです。これは、その人物が国を代表すると同時に、少しの図柄の違いによって本物との差異を認識しやすいからです。偽造防止の観点からは、精緻な人物像の写真があることが望ましいため、明治以降に活躍した人物が主に採用されています。また、近年のお札の肖像では文化人の採用が多くなっています。

年配の方はご存じかと思いますが、



写真1 新札3券種のデザイン 2024年7月発行

一九六三(昭和三八)年に発行された千円札の肖像は、政治家の伊藤博文です。この改刷時の肖像選考過程では、今回の一万円札に採用された渋沢栄一も有力な候補として挙げられていました。伊藤博文は、国家的業績を有する政治家として有名であり、同じく戦後のお札に採用された板垣退助、岩倉具視と並んで政治家として荘重な容貌となっています。渋沢栄一も約五〇〇もの企業の設立に関わった「日本近代社会の創造者」と言われる人物です。しかし、偽造防止の観点から、伊藤博文の肖像が当時の写真製版技術による再現が難しかった細画線で表現される豊かなひげを備えていたことが、選定に至った理由の一つと考えられています。

(3) 最先端の偽造防止技術

お札には、すき入れを始めとして多くの偽造防止技術が盛り込まれています。今回発行された新しいお札には、現行のすき入れに加えて新たに高精細なすき入れ模様が採用され、肖像の周囲に緻密な画線で構成した連続模様が施されています(写真2)。また、3Dホログラムが新たに採用され、3Dで表現された肖像が回転する最先端技術が用いられています(写真3)。



写真2
高精細すき入れ



<現行券>



<新日本銀行券>

写真4 識別マークの形状及び配置変更(一万円券)

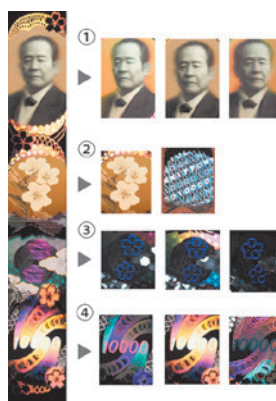


写真3 3Dホログラム(肖像部)

(4) ユニバーサルデザインも充実

目の不自由な方が指で触って券種を識別できるように、識別マークとして深凹版印刷によるざらつきが付与されています。形状は指感性に優れる一本の斜線に統一され、券種毎に位置を変えることで識別しやすくしています(写真4)。また、年齢や国籍を問わず多くの人になじみのあるアラビア数字による額面表示が大きくなりました。

(画像引用元: 国立印刷局ホームページ
https://www.npb.go.jp/ja/nbanknote/index.html)

偽札との果てなき闘い

通貨制度の信頼と安定のためには、お札の偽造防止技術が大変重要です。二〇二三年の日本のお札の偽造券発見枚数は、警察庁公表値によると六八一枚です。海外と比較すると、数値が公表されているユーロ券の二〇二三年の偽造券回収枚数が四六七、〇〇〇枚となっています。共通通貨として複数の国で使用されているユーロ券との単純比較はできませんが、日本のお札の偽造券発生枚数は世界的に見て非常に少ない数値に抑えられています。私自身もプライベートでは、日本の偽札に出会ったことはありません。

世界第一の基軸通貨は、ご存じの通り米ドルです。基軸通貨であることのメリットは大きいですが、世界で広く流通する米ドル紙幣は偽造券の発生リスクが高くなります。二〇〇〇年代にはスーパークと呼ばれる偽造一〇〇ドルが発生し、その精巧さには驚かされました。ちなみに、現在発行されている一〇〇ドル紙幣は、高度な偽造防止技術が盛り込まれた新しいお札に変わっています。もっとも、アメリカ国内で日常的に使用されるお札は二〇ドル以下の額面がほとんどです。偽造紙幣を製造する手法は、時代と

共に変化しています。日本国内の偽造事例としては、昭和五〇年代には商業的な印刷機を使用した偽造に代わり、一般に普及し始めたカラーコピー機による偽造事例が発生しました。平成以降になると、個人で所有するPCとカラープリンターを利用した偽造、さらに人間ではなく機械処理機を狙った偽造などが発生しました。そのため、お札の偽造防止技術は各種の新技術に対応した高度化が図られています。なお、日本では通貨偽造の罪は無期懲役までの重い刑罰が設定されています。

日本のお札は世界一?

紙幣に関する国際会議では、欧米先進国が中心となり特に共通通貨ユーロを有するヨーロッパが主導的な役割を担っています。ある国際会議に出席した時のことですが、たまたま海外のメジャーな製造業者の団体と同じテーブルで昼食をとる機会がありました。自然と紙幣に関する技術が話題になり、持っていた日本のお札を披露しました。その時に彼らの代表から、*「Japanese banknote paper is the best in the world. (日本の紙幣の紙は世界一だ。)」*という言葉が頂いたことが、とても印象に残っています。日本のお札の紙は高い品質を有していますが、米ドルやユーロと較べると、欧米人には馴染みの薄いお札であるのが現状です。お世辞も入っていたかもし

れませんが、この仕事に携わった中で特にうれしかった瞬間でした。それ以降、海外の関係者と会う時には、千円のピン札をポケットマネーで用意して、記念品として一枚プレゼントすることになっています。

■和紙の伝統がお札に

日本では、江戸時代までは紙と言えば和紙のことでした。日本全国で通用する最初の紙幣は明治政府によって発行されますが、江戸時代は各藩で藩札を発行していました。藩札には和紙の製造技術が用いられており、当時としては高度な偽造防止技術が盛り込まれた藩札も存在します。

明治以降の日本では、欧米の洋紙製紙技術を取り入れて工業の近代化が図られ、製紙産業の主流は和紙から生産効率の高い洋紙へとシフトしました。しかし、近代紙幣の製造に関しては、伝統的な日本の和紙の技術を基盤として、我が国独自の技術開発が進められました。そのため、現在でも日本のお札の紙には、和紙原料の雁皮(がんど)に由来する伝統的な卵黄色の色相が引き継がれています。

「日本のお札は和紙を使っているから偽造が少ない」という有難い言葉を頂くことがあります。和紙産業は縮小傾向にありますが、大切にすべき文化遺産だと思っています。ちなみに、我が岐阜県的美濃和紙は、現存する最古の和紙

として奈良の正倉院に残されており、さらに楮(こうぞ)製の美濃和紙は世界遺産に認定された世界に誇れる日本文化となっています。

余談ですが、第二次世界大戦時の空襲により、我が国の紙幣製造設備は壊滅的打撃を受けました。しかし、戦後はインフレに対応するために、大量のお札が早急に必要とされました。この戦後の混乱期には、岐阜県武儀郡(当時の地名)の岐阜県局紙工業協同組合において、手漉による紙幣用紙の製造が行われていたことが印刷局の記録に残されています。

■キャッシュレス化でお札がなくなる?

キャッシュレスという言葉を目にするようになって久しくなります。経済産業省の公表値によると、二〇二三年の日本のキャッシュレス決済額の比率は三九・二%となっており、その数値は年々増加傾向にあります。しかし、逆に見るとまだ残りの多くは、現金によって決済されていることになりました。

財務省が行った通貨に関する実態調査(二〇二三年度)によると、「現金に不便さを感じていない」「キャッシュレス決済だと、お金を使いすぎてしまう心配がある」「セキュリティに不安がある」などが、キャッシュレス決済を利用しない理由として挙げられています。

ます。その他に、「スマホやタブレットを持っていない」「アプリやカードの使い方が分からない」といった理由や、冠婚葬祭の祝い金や香典、お小遣いやお年玉、緊急時の備えには今後も現金を使用するというアンケート結果も見受けられます。

海外を見渡すと、通貨の在り方についての考え方は国によって異なり、キャッシュレスの進み具合も各国で異なります。近年はデジタル通貨や暗号資産の導入が進められている国も見受けられます。社会のデジタル化が進むにつれて、電子的決済方法を選択する機会とは必然的に増加します。しかし、高齢者や障害を持つ人々、ＩＴインフラが整備されていない地域など、社会的弱者や電子決済サービスの利用機会が限定されている人々への配慮も大切です。

在職中に出席した国際会議では、「Freedom to choose how to pay (支払方法を選択する自由)」という言葉や、葉を良く耳にしました。支払い手段が多様化する中で、国家が発行する紙幣を使用する自由が保証されていることは大変重要です。

ヨーロッパ中央銀行(ＥＣＢ)では、ＥＵ加盟国二〇カ国の共通通貨ユーロを発行しています。ＥＣＢでもデジタル通貨に関する検討が行われていますが、同時にＥＣＢホームページには、人々がお札を引き出せるアクセス環境

をサポートし、現金が決済の選択肢であることを保証すると明記されています。ユーロ圏では、それぞれに異なる歴史的経緯を有する国々が集まって共通通貨の発行を実現しており、彼らは学ばなければならないと感じます。

なお、日本においても、日本銀行が発行する銀行券(お札)に強制通用力があることが法律で定められています。

■お札に関わった人生を振り返って

国立印刷局在職中の大きな経験は、二〇〇四年と二〇二四年に計画された二回の新札発行です。国の仕事として、お札の研究開発の一端に携われたことを大変光栄に思います。

在職中は何度か転勤がありました。結婚及び子育ての時期を研究機関のあった神奈川県小田原市で過ごしました。相模湾がすぐ近くにあり、岐阜で育った私には新鮮な体験でした。また、交換研究員として一年間アメリカに滞在したことや各種国際会議に出席させて頂いたことは貴重な経験となりました。

定年退職した現在は、岐阜の実家に戻って製紙関連の情報に関する個人のHPを作成しています。興味のある方はご覧下さい。

<https://papermakingresearch.com>



特集2 校史への招待

●校旗の色をたずねて

令和6年(2024年)4月、岐阜高校の校旗が同窓会によって新調されました。
その色についての疑問を調べてみると、思いがけず遠いところまで歴史をさかのぼる事になりました。
校旗がたどった歴史をめぐる物語です。

●校史資料室の紹介

岐阜高校の歴史は目に見え、手に触れることができる形で残っています。
校史資料室には明治6年の開校以来の貴重な資料や写真、物品が集められ、今も収集と整理が続いています。
資料の中には皆さんの高校時代の思い出をよみがえらせるものもあります。
一度、訪ねてみてはいかがでしょうか。

校旗の色をたずねて

会報部会 森田 尚人

校旗の色は？

「あれ、この色だったっけ」と声が上がった。「そうなんですよ」案内して下さった石田達也校長(当時)が少し困っ

た表情で笑った。令和六年(二〇二四年)四月、同窓会総会の準備委員会のために岐阜高校を訪れた際、新調されたばかりの新しい校旗を見せていただいた。真新しい校旗は濃い橙のような

鮮やかな色だった。一方、私の記憶にある校旗はエンジの様な、くすんだ色だった。この場に居合わせた同級生の多くも、同じように意外に感じたようだった。

その後、同窓会で会報を担当する事になって、この時の事を思い出した。私たちの世代が校旗の色をエンジだと思っていたのは、在校当時の校旗が退色してそれに近い色になっていたため



ではないだろうか。新旧の色の違いを検証し、校旗の歴史をたどるコラムを会報に書けないか。まずは先代の校旗がどんな色か確かめてみよう」と岐阜高校に連絡を入れた。

令和六年一〇月、岐阜高校を訪れ、同級生でもある石田校長と同窓会の園部利彦事務局長に校長室でお会いした。真っ先に新旧の校旗を見せていただいた。予想に反して同じ色だった。古い校旗は、くすむどころか鮮やかな色を保っていた。後で知った事だが、新しい校旗は古い校旗の色をそのまま再現して作られている。同じ色で当たり前なのだ。

当初の仮説はいきなり外れた。次にひねり出したのは「校内の目立つところにエンジの旗があったのではないか」という説だ。生徒が校旗を目にするのは入学式や卒業式などの式典に限られる。それよりも日常的に目にした旗の色が記憶に残っていたのではないか。石田校長にお願いして校内を回り、エンジの旗がないか探してみた。道場にあった柔道部の部旗は赤、剣道部の部旗はエンジに近いが少し紫がかっている。少しひっかかったのは体育館の緞帳の上にある校章だ。エンジの幕の上に校章が描かれていて、探していたイメージに近い。しかし、下から見上げた校章はかなり小さく、どうもしくりこない。家に帰って卒業アルバムを見直すと深緑の旗も見つかった。様々な色の旗があった事はわかったが、二つ目の仮説もあてにならないようだ。

結局、一番腹に落ちたのは石田校長



柔道部の部旗



剣道部の部旗



緞帳の上にある校章

の説だ。校長室で校旗についてあれこれ話をうかがった際、石田校長は「野球部の色の印象が強いのではないですか」とおっしゃった。確かに野球部のユニフォームの「GIFU」の文字やストッキングの色はエンジ色だ。放課後の校庭で練習する姿は毎日の様に見ていたし、学校を挙げて応援に繰り出したこともあった。体育館の緞帳説より説得力があるし、なにより岐阜高校のOBでもある校長の発言は重い。「野球部のチームカラーの印象が強かったため、なんとなく校旗もエンジだと思っていた」という説明で多くの卒業生は納得できるのではなからうか。

最初の疑問については結論らしきものが出たが、さらに歴史について調べることにした。岐阜高校の歴史を「古往今来」としてまとめておられる園部

事務局長の校旗に関するお話は興味深かった。ご教示を頂きながら、『岐阜百年史』（以下『百年史』）と『岐阜八十年』という資料をお借りして校旗の歴史をたどってみた。



野球部のユニフォーム



野球部応援用の小旗
(昭和53年製作か)

■初代校旗は「真紅」

実は、校旗は明治六年の開校当時からあったわけではない。『百年史』によると、明治二十八年に始まった運動会の新競技のために「表彰旗」が作られ、校旗の代わりとして使われていた。

最初に校旗についての記述が登場するのは明治四二年、「東宮(後の大正天皇)行啓を記念して岐中では「校旗」を制定調製した。」という一行である。これが初代の校旗のようだが、どんなものだったのかについては触れていない。初代校旗についての手がかりは『岐高八十年』にあった。明治四五年の卒業生が「校旗の思出」という一文を寄せている。それによると「校旗は真紅の二重塩瀬の生地、中央に大きく桜の校章を表し」とある。デザインは今の校旗と同じようだが、色は「真紅」つまり濃い赤で、今の校旗とはかなり違う印象である。再び、色に関する疑問にぶつかった。

次に『百年史』に校旗の記述があるのは昭和一七年、太平洋戦争のただ中だ。古い校旗が「三十有余年の風雪にさいなまれて近時ようやく汚損はなはしく」なったため、「多大な苦心を払ひまして、これと同型同色同質に近いものの新調に成功致しました」と書かれている。その後、昭和四一年に一代前の校旗が作られ、令和六年に今回の新しい校旗が作られた。

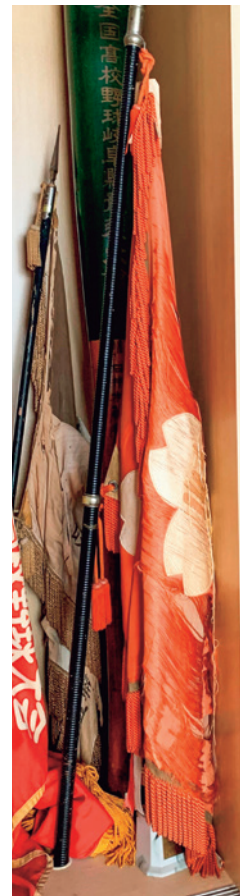
歴代の校旗とその色についてまとめると次のようになる。

- 明治四二年(一九〇九年)
初代校旗 真紅
- 昭和一七年(一九四二年)
二代目校旗 初代と同色に近い
- 昭和四一年(一九六六年)
三代目校旗 橙色のように鮮やか
- 令和六年(二〇二四年)
四代目校旗 三代目と同じ色

なぜ初代校旗の「真紅」が今の色になったか。昭和一七年に作られた二代目の旗が気になった。「同型同色同質に近い」とあえて書かれているのは、戦時中の物資不足の影響か、完全に同じものはできなかったということだろうか。二代目の旗はどんな色だったのか。校史資料室で昔の卒業アルバムにカラーの写真はないが、探すことにした。

■二代目校旗との出会い

前回の訪問から二週間後、再び岐阜高校を訪れた。事務室の受付で手続きをして校史資料室に向かうと、入り口手前のショーケースに何本かの旗が飾られていた。また別の色の旗が見つかるかも知れない、そう思っただけでなく、そのうちの一本が目が止まった。かなり色あせたオレンジっぽい色で、生地は縦糸が切れて横糸がすだれのように垂れ下がっている。旗の中央には



この旗は？

桜の花びらのような模様が見える。校章のようだ。旗の上部に白い荷札がついているが、こちらからは読めない。

「もしかするとこれは・・・」。興奮を抑えながら学校にお願いしてガラスケースを開けていただいた。少し炭化が進んだ荷札を慎重にひっくり返すと、そこには「岐中校旗 昭和一七年製作(初代校旗を模写製作せるもの)」と書かれていた。二代目校旗だった。二代目の校旗は現存しないと思ひ込んでいたため写真を探すつもりで訪れたのだが、思いがけず現物を発見してしまったのだ。



「岐中校旗」の文字が

『岐高八〇年』には初代の校旗は「戦災で焼失」と書かれている。初代校旗が焼けた昭和二〇年七月九日の岐阜空襲の様子を『百年史』は次のように記している。「敵機来襲。校長は、ご真影を

捧持し、各職員は学籍簿の袋を持って、校門付近の防空壕に待避する。」その後、防空壕の上を焼夷弾が直撃し、職員らは火の海の中、近くの神社に避難した。校舎は次々と焼けたが、渡り廊下を撤去して延焼を防ぎ、途中で風が変わったこともあって一部は焼け残った。二代目の校旗はこの時、ご真影と共に避難したのか、それとも焼け残った建物にあったのか。いずれにしても当時の先生方の命がけの働きで奇跡的に戦火を免れ、今ここにある。

この日はもう一つ、うれしい発見があった。園部事務局長が初代の校旗が描かれた絵はがきを資料の中から見つけ出しておいて下さったのだ。この絵はがきには「二九一一・一一・四」と日付の入った印が押されており、初代の校旗が作られた二年後のものとわかる。

■受け継がれた色

こうしてこの日、初代から四代目にわたる校旗の姿を知ることができた。初代の旗は「真紅」と表現されただけあって、わずかに黄味を帯びた濃い赤である。二代目の校旗は片面こそ色あ

せているが、意外にも反対側には濃い色彩を残している。少し黄味が増しているが赤が強く、どちらかと言うと初代の校旗に近い。三代目と四代目はさらに黄味が強く、明るい色合いになった印象がある。もちろん、三代目までの旗はどれも長い時を経ているので、当初から今の色だったかどうかはわか



二代目校旗



左 四代目校旗 右 三代目校旗



初代校旗の絵はがき

らない。大きく言えば同じ範疇の色と言えるし、細かく見ると代を重ねるごとに少しずつ色合いが変わっているように見える。

ここまで読んで、校旗の色を定めた規定はないのか、という疑問を持たれた方もいるかもしれない。結論からいうと、そうした規定の載った文書は伝

わっていないようだ。校旗の色に正式な色名は付けられていないし、色見本などによる指定もされていない。現物の色がすべてである。二代目以降の校旗が先代の旗を見本にして作られてきたことにはこうした事情がある。従って、それが本来の色かを問うことに意味はないのだろう。百余年の風雪に耐え、戦火をくぐり抜けて受け継がれてきた事にこそ価値があるのだ。

■「岐校の歴史は学制の歴史」

ではなぜ、校旗について定めた文書が伝わっていないのか。これも岐阜高校の歴史を振り返ると理解できる。

明治五年（一八七二年）

明治政府が学制頒布

明治六年（一八七三年）

仮中学として開校

明治三一年（一八九八年）

この頃に現在の校章が出来たか

明治四二年（一九〇九年）

初代の校旗を製作

明治四四年（一九一一年）

校歌制定（明治四五年という説も）

岐阜高校は明治維新から間もなく開校し、当初は江戸時代の藩校のようなものから徐々に近代的な学校として整備されていったようだ。だから当初は校章や校旗などはない。これらは学校制度の発展に伴って、その後四〇年近

くかけて徐々に整えられていった。近年できた新しい学校であれば、創立時に校章や校旗などが作られ、デザインや込められた意味なども文書に残されているだろう。しかし岐阜高校の場合、こうした由来は歴史のかたにある。園部事務局長の言葉を借りれば「岐高の歴史は学制の歴史そのもの」なのだ。こうした歴史を考えると過去に様々な旗が作られたことも納得できる。現在、岐阜高校のスクールカラーは校旗の色とされているが、そもそもスクールカラーというものが意識されるようになったのは比較的最近の事だ。それ以前は必要や好みに応じて様々な色が使われていた。その中には野球部のユニフォームの色のように、ある世代にとって学校を代表する色として認識されてきたものもあるのだろう。

■最後に

今回、校旗の歴史をたどってみて、改めて岐阜高校の歴史の長さ、その内容の豊かさを実感した。岐阜高校の一五〇年余りの歴史は明治維新以降の日本の歩みとそのまま繋がっている。校旗とは学校を象徴するものだが、岐阜高校の四代の校旗は単なる象徴にとどまらず、それ自体がこうした歴史を体現するものだった。そして、校旗に代表される岐阜高校の歴史と伝統を共有していることが、私たち卒業生の結束の源であり、財産でもあると思うのだ。

校史資料室の紹介

岐阜高校同窓会事務局
事務局長 園部 利彦



岐阜高校の校史関係の資料は旧校舎・本館三階にあった図書室の隣室に保管されていました。図書室の一角には校史を紹介するコーナーが設けられ、一部の資料が展示されていました。また、同じく本館二階にあった合併教室の一隅に保管されていた資料もありました。

校舎改築を機に、管理棟二階に独立した校史資料室が設けられ、校内から資料が集められました。校史資料室には校舎改築以降約一〇年間、常駐者はいませんでした。二〇二二令和四）年に同窓会事務局ができてからは室内に事務局長の執務場所が充てられました。

所蔵・展示されている資料には、歴代校長先生の肖像写真をはじめ、卒業生による著作や書画、野球部関連の資料、卒業記念品などがあります。岐中時代や岐阜女時代の教科書・参考書、過去の周年記念行事に関する資料などもあり、往事をしのぶことができます。また、数々の優勝旗・優勝盾やトロフィー類は、旧校舎で

は正面玄関の展示ケースに収められていましたが、現在では校史資料室前の廊下に展示されています。

岐阜高校の歴史を物語る資料のうち、戦前の資料は一九四五（昭和二〇）年七月の岐阜空襲で校舎と共に大半が焼失したため極めて少なく、卒業生や関係者から寄贈された物が散見され、いずれも貴重なものです。





校史資料室の写真より

昭和二十一年 行幸

岐阜高校の校史資料室に一枚の白黒写真がある。写っているのは教室で理科の実験をしている様子だ。教室の壁はベニア板で、補強のために縦横に打ち付けられた角材がむき出しになっている。仮設のような粗末な作りだ。中央には古びた木製の机があり、試験管や薬品瓶、開いたノートなどが置かれている。机の左側には四人の生徒が立っている。服装は三人が詰め襟、一人はくたびれた国民服のようなものを着ている。頭は全員丸刈りだ。生徒の一人が持った試験管に別の一人が薬さじで薬品を入れており、手前の生徒はノートを取っている。奥から実験の様子をのぞき込む生徒の学生服の胸には、桜の花びらに「中」と書かれた校章が小さく見えている。そして画面右側で生徒たちの様子をご覧になっているのは昭和天皇、その人である。この写真は終戦翌年の昭和二十一年（一九四六年）一月二十五日に昭和天皇が当時の岐阜一中を行幸された際のものと思われる。

昭和天皇はこの年の一月に「人間宣言」をされ、昭和二十九年にかけて全国各地を訪問された。いわゆる戦後巡幸である。

『岐阜百年史』によると、当時の岐阜一中は昭和二十一年七月九日の岐阜空襲で校舎の大半を焼失していた。この年の入学式は壁に無数のクギが打たれた銃器庫を転用した教室で行われ、食糧難で校庭は大部分が農園となっていた。この翌年になっても教室が足りず、下級生は隔日で登校していたという。

行幸の様子について『岐阜百年史』には「天皇行幸、罹災状況、生徒の勉学状況を親しく御巡覧」「これに備えて、一週間にわたって大掃除。土足の教室をタワシで磨きたてた。」そして「凸凹の土間に机を並べ、ベニア板で仕切って、いくつかの教室となっていた講堂を通って御帰還」と記されている。写真はこのベニア板で仕切られた教室で撮られたものだろうか。

戦争で灰燼と帰した日本はその後、紆余曲折を経ながら経済大国への歩みを進めていく。岐阜一中ではこの翌年に新しい校舎の建設が始まり、二年後に「県立岐阜高等学校」となる。

写真は我が校、そして日本の戦後の混乱期の様相と新しい時代の息吹を写し出している。

（文 森田 尚人）

校史資料室 ご利用の案内

【利用可能な日時】 平日9～17時

- ※1 火曜日・金曜日の9時～12時には同窓会事務局担当者が在室しています。
- ※2 ※1以外の平日には、在室者がいませんが、岐阜高校教職員が対応します。
- ※3 授業や学校行事により利用できない場合がありますので、利用を希望される場合は次の連絡先に予めご連絡いただければ幸いです。

【利用についてのお願い】

利用は同窓会事務局担当者または岐阜高校教職員の同伴のもとでお願いします。その際、資料の貸出・撮影・複写などを希望される場合はお申し出ください。なお、個人情報等については閲覧・撮影・複写をお断りすることがあります。

【お問い合わせ・連絡先】 080(3673)1235 《同窓会事務局担当者》
058(251)1234 《学校代表番号・事務室》